

(編入学)

平成27年度 入学試験問題
小論文
(農学生命科学部 生物資源学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙3枚と下書き用紙3枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題 下の表は世界での遺伝子組換え作物の栽培面積を作物別に示したものである。下記の問いに答えなさい。

1. (a) 1996年に世界で初めて遺伝子組換え作物の商業栽培が開始された。
1996年に比べて2013年では栽培面積が何倍に増加したか。
(b) 日本の国土面積を38万 km^2 とすると2007年時点で日本の国土何個分の土地で遺伝子組換え作物が栽培されているか。
(a), (b) について計算式も示し、小数点2桁目を四捨五入して答えなさい。
2. 遺伝子組換え作物とは何か。句読点を含めて50字以内で説明しなさい（アルファベットも1文字とする）。
3. 現在、世界中で栽培されている遺伝子組換え作物のほとんどが除草剤耐性や害虫抵抗性を付与したものである。
(a) 除草剤耐性とは何か。句読点を含めて50字以内で説明しなさい。
(b) 上の表を見て、遺伝子組換え作物の栽培面積の推移について説明し、その原因について考えられることを600字以内で論述しなさい。

表. 世界での遺伝子組換え作物の栽培面積（作物別）

<p>著作権の関係上、省略します。</p>

（日本モンサント株式会社ホームページより、一部改変）